

漁港・漁場・海岸の施設の設計にかかる相談事例

分類項目	外郭施設－環境への配慮（周辺の藻場への配慮）
相談タイトル	藻場造成型防波堤の設計について
相談者	島根県
相談内容（メール質問）	<p>● 沖防波堤の整備予定箇所及びその周辺は採貝藻漁業が営まれている岩礁帯に近く、砂の堆積による海藻類への影響が懸念されている。今回、新防波堤の設計にあたっては、防波堤への藻場造成・増殖機能を付加する必要があると考えているが、整備計画（案）について、意見・留意すべき事項があればご教授願いたい。</p>
相談会（メール質疑）の結果（R02.9.30 メール回答）	<p>現状の調査結果から計画案による変化については、大きく以下のように考えられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 天然礁～外防波堤沖側にこれまでアラメ・クロメ群落が維持されている要因として北西からの波浪による流動の寄与は大きいと考えることから、計画案の新沖防波堤設置により静穏化が進み、現在、外防波堤前面にみられている泥の堆積域は拡大し、藻場域は縮小すると予想される。 2) 沖防波堤の捨石マウンドにアラメ・クロメが生育するのは波浪の影響であり、防波堤両端部の背後まで分布が及んでいるのは回折波の波動流による。これと同じような様式でアラメ・クロメ（またはワカメ）が新沖防波堤の堤体水面下に生育すると予想される。 <p>【回答の詳細については省略】</p> <p>その他のコメント</p> <ol style="list-style-type: none"> 3) 新沖防波堤の整備により、当該漁港・漁場における波浪場・流動場、局所漂砂量フラックス、堆砂等が現況と変わり、生物相に影響を及ぼす可能性がある。また、新沖防波堤の完成には年数を要すると想定されることから、整備途中において適宜、生物相や物理場の調査を実施し、必要に応じて調査結果を事業にフィードバックできる仕組みを検討しては如何か。
相談会（メール質疑）後の検討状況	<p>アドバイスを踏まえ、藻場造成・増殖機能を付加した防波堤の整備について検討を進めることとした。</p>